



# 令和5年中の県内の交通死亡事故(30件31人)

令和5年中の県内の交通人身事故は、発生件数・負傷者数とも平成13年以降23年連続で減少。交通事故死者数は**31人**で、前年より3人減少となりました。

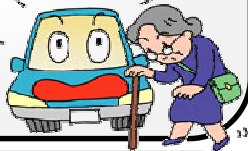
## ● 事故類型別死者数 ( )内は高齢者数(内数)

<p><b>車×車</b> ※自動二輪車同士を含む</p> <p><b>8人(2人)</b></p>	<p><b>車×自動二輪車</b></p> <p><b>1人(1人)</b></p>	<p><b>車×人</b></p> <p><b>11人(8人)</b></p>	<p><b>車単独</b> ※自転車含む</p> <p><b>11人(7人)</b></p>
--	--	---	--

## ● 交通死亡事故の特徴

### 死者の約6割が高齢者!

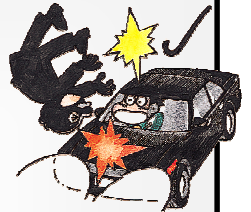
死者31人中、65歳以上の高齢者が**18人(構成率58.1%)**と約6割を占め、前年の22人(同64.7%)に比べて減少しましたが、依然として高齢者が当事者となる死亡事故が多く発生しています。



### 歩行者事故の多くは夜間に発生!

歩行中の死者11人のうち、夜間の死者は7人と、6割以上を占めました。

夜間の死者は全員反射材を着用していませんでした。



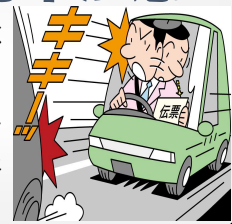
### 高齢歩行者の横断中の事故が多い!

歩行者事故11人のうち、横断中の事故は5人で、その全てが高齢歩行者でした。このうち、ドライバーから見て**右から左への横断中**の事故は3件と6割を占めました。



### 原因の多くが前方不注意!

最も多い事故原因は、前方不注意16件(構成率53.3%)、次いで多いのは、速度超過や一時不停止などの交通違反7件(同23.3%)でした。

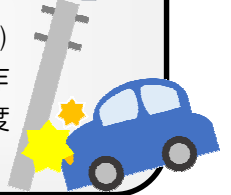


## 1 県内の交通事故発生状況(1月23日現在)

区分	発生件数	死者数	負傷者数
本年	94	2	106
昨年	112	1	121

## 車両単独事故が多発!

単独事故は、11件(構成率36.7%)と多く発生し、内訳はハンドルの操作不適が5件、前方不注意が5件、速度の違反が1件でした。



## 2 交通事故死者の年代別

年代	未就学児	小学生	中学生	高校生	~24歳	25~39歳	40代	50代	60~64歳	65歳以上	合計
死者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
構成率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	100

- 県警のホームページにも掲載しています。
- 毎月第二・第四水曜日(祝日、年末年始を除く)に新情報をメール配信しています。(申込方法は県警HP参照)
- 二次元コードからSD情報のHPに直接アクセスできます。→

